

科目名	博物館情報論					単位	2.0
担当教員	鯨井 秀伸						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	3270

●授業のテーマ

博物館における情報やメディア・コンテンツの活用を考察する。

●到達目標

博物館情報の収集、研究そしてアーカイブとして不可欠な既存の視聴覚メディアや、現在進行形の循環型メディアの形態を考察し、変化を余儀なくされる「メディア」という社会的装置のありようと、博物館情報の発展と活用という見地の相関関係を、多角的に考察し視聴覚教育メディア論の理解に寄与する。

●学習内容(授業概要)

全体的に講義形式であるが、学生との双方向の意見交換が可能になる形式を実施していく。映像の視聴が行われ、それに対する学生からの感想を中心に議論を深める試みも行われる。出席数、授業への参加の姿勢、試験レポートなどを総合的に評価する。

●学習内容(授業計画)

- 第1回 博物館情報と視聴覚教育メディアの関係、「メディア」「教育」の考え方
- 第2回 従来のメディアと台頭する新メディアの概要
- 第3回 博物館情報の発展と活用とは
- 第4回 マスメディアと教育メディア論の展開
- 第5回 博物館情報の収集と活用におけるマスメディアと新メディアの機能
- 第6回 視聴覚資料から見える事実と演出 1
- 第7回 視聴覚資料から見える事実と演出 2
- 第8回 視聴覚資料のリテラシー 1
- 第9回 視聴覚資料のリテラシー 2
- 第10回 視聴覚教育メディアとの距離を考える
- 第11回 講視聴覚メディアの教育的効果とは 1
- 第12回 視聴覚メディアの教育的効果とは 2
- 第13回 博物館情報の発展と活用における視聴覚教育メディアの基本的基準
- 第14回 視聴覚教育メディアとは 総論
- 第15回 試験レポートの実施

●準備学習・事後学習の内容

特になし

●成績評価方法・基準

受講態度・関心・意欲(10%)、平常点(40%)、試験レポート(知識、理解; 50%)などを総合的に評価する。レポートの提出に関しては授業内で指示する。

●テキスト(必携)

特になし

●参考文献／その他

参考文献：大堀哲・水嶋英治「博物館学 III 博物館情報・メディア論＊博物館経営論」2012年 学文社

●履修上の注意

特になし